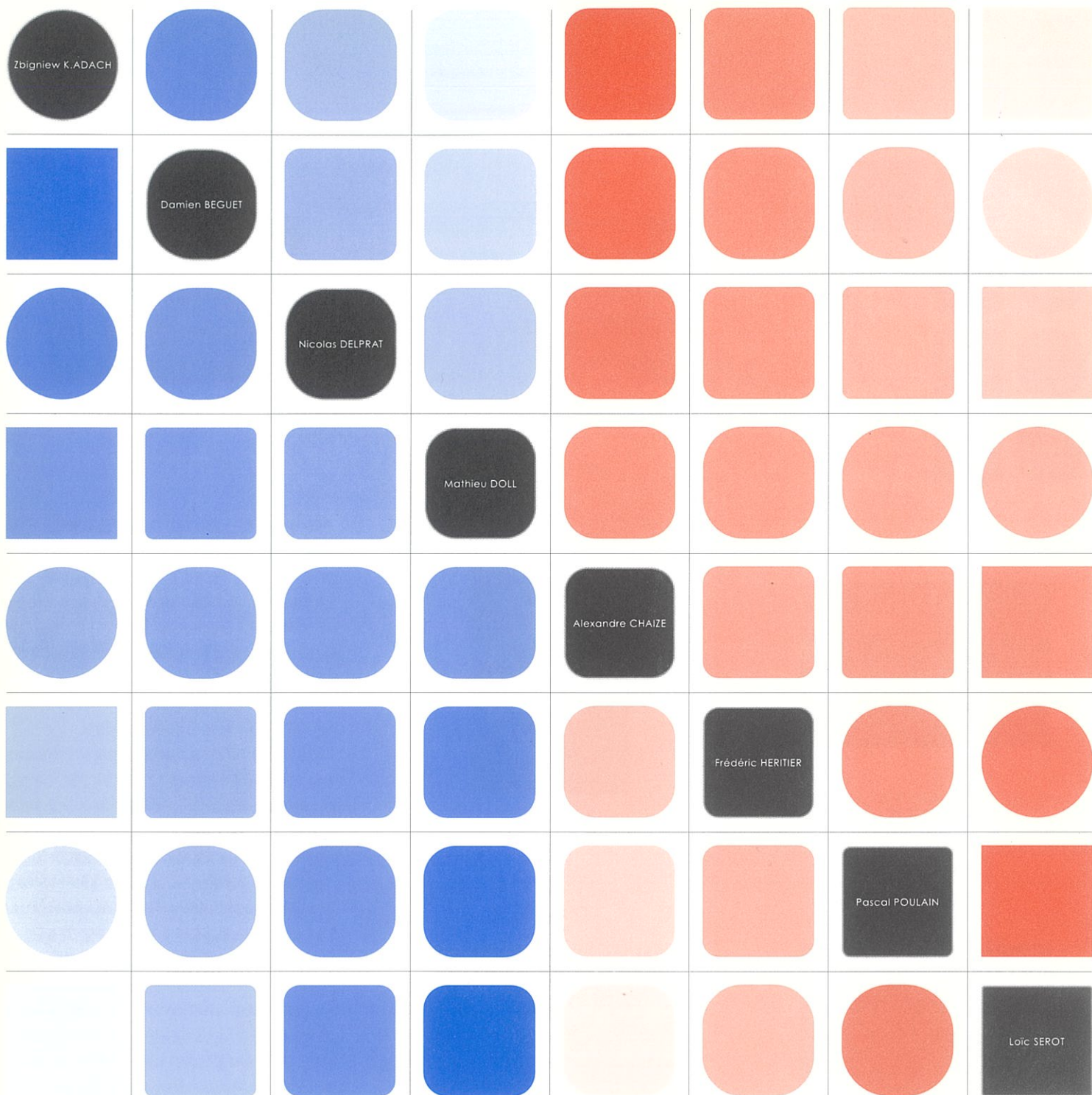




# MULTI PASS

フランス・リヨンの若手アーティストたち

YOKOHAMA CIVIC ART GALLERY  
横浜市民ギャラリー  
3階展示室

2000年2月21日(月) — 3月20日(月・祝) | 10:00 — 18:00

休館日=2月27日(日) / 入場料=無料 / 主催=横浜市民ギャラリー、リヨン国立美術学校、横浜市、リヨン市

231-0031 横浜市中区万代町1-1(教育文化センター内) TEL.045-224-7920 FAX.045-224-7928

E-MAIL: uch48398@city.yokohama.jp URL: http://www.city.yokohama.jp/me/ycag/

後援=フランス大使館、横浜日仏学院、神奈川新聞社、TVKテレビ / 協力=日本航空 / 助成=ポーラ美術振興財団

出品作家=ズビグニフ・K・アダック Zbigniew KADACH / ダミアン・ベゲ Damien BEGUET / ニコラ・デルプラ Nicolas DELPRAT / マチュー・ドール Mathieu DOLL  
アレクサンドル・シェイズ Alexandre CHAIZE / フレデリック・エリティエ Frédéric HERITIER / パスカール・プーラン Pascal POULAIN / ロイック・スロ Loïc SEROT

★初日18:00より出品者参加によるオープニング・パーティー



|                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| Mathieu DOLL    | Loïc SEROT        |
| Zbigniew KADACH | Alexandre CHAIZE  |
| Damien BEGUET   | Frédéric HÉRITIER |
| Nicolas DELPRAT | Faïcal POULAIN    |

リヨン  
Yokohama



マチュ・ドール  
《テラス》  
ビデオインスタレーション・1999



ロイック・スロ  
《Without》  
カラープリント・1998



ズビグニフ・アダック  
《パリのベンチ(1)》  
油絵具・合成樹脂塗料・キャンバス・1998



アレクサンドル・シェイズ



ダミアン・ペゲ  
《階段C》  
アクリル・ラッカー・厚紙・アルミニウム・1998

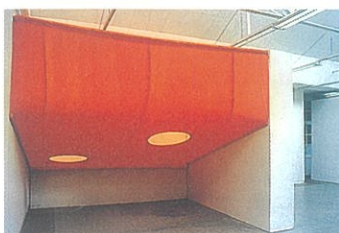


フレデリック・エリティエ  
《抜き足差し足》  
OH LES BEAUX JOURS展でのパフォーマンス(パリ/パティニール広場)・1999



TRICIA  
NUMERO TRES SPECIAL...

ニコラ・デルブラ  
《TRICIA NUMERO TRES SPECIAL...》  
ラッカーを塗布した支持体にグアッシュ・1999



バスカル・ブーラン  
《DUO ORANGE》  
インスタレーション・1997

横浜市民ギャラリーでは、フランス・リヨン国立美術学校との共同企画により、同校を修了して国内外で活躍する若手作家と、現役大学院生たちの作品を紹介する展覧会を開催します。

本展は、横浜とリヨンの姉妹都市提携40周年という機会をとらえて実現可能となったものであり、当ギャラリーが開館以来開催してきた、国内外の若手作家を紹介するアニュアル展「今日の作家展」の特別企画として位置づけ、近年日本でもその多様な活動が頻繁に紹介されるようになったフランスの20代、30代のアーティストたちに焦点を当てようというものです。

本展では、リヨン国立美術学校を修了して現在パリやリヨンを拠点に制作を行う若手作家4名の作品展示に加え、今年度の同校美術科博士課程(ポスト・ディプロマ・コース)の大学院生4名が展覧会に先駆けて来日し、市内に準備した共同スタジオで各自の新作を完成させ、本人が作品設置を行います。

彼らの作品は、写真やパフォーマンス、インスタレーションなど複数の異なる表現媒体を組み合わせた独自のスタイルによって、存在の虚/実や自らのアイデンティティーを探ろうとするもの、あるいは映画や音楽の手法・断片を巧みに引用しながら、視覚映像や音声の表現の可能性を追求しようとするもの、またあるいはアートの社会的機能について考え、アートによって特定の社会現象を分析・批評していくもの、そして一方では、素材やテクスチャーそのものの新たな可能性を探究するもの、など多傾向にわたっています。そのような彼らに共通するのは、自らをとりまくあらゆるジャンルの情報を貪欲に吸収し、時にはインターネットによるグループ会議やコラボレーションといった方法で制作を行うなど、自分の美的・思想的スタイルを強く持ちながらも、周囲と自己との関係性を常に積極的に探り、世界を広げていこうとするしなやかな態度であるといえます。本展タイトルの「MULTIPASS」(マルチ・パス)とは、「多の」「多要素から成る」といった意味の連結詞「MULTI」と、「通行」「移動」に関わる様々な語の語幹である「PASS」を組み合わせた造語であり、彼らの多様で柔軟な制作姿勢や可能性の広がりを示唆するキーワードとして、作家たちとの意見交換の中から生れてきた言葉です。

彼らはいずれも、海外でのレジデンスや国内での公共美術プロジェクトへの招待参加など、すでに多くの発表経験を積んでいますが、多くの未知の可能性を秘めており、今回の初の日本での発表でも、それぞれの新局面を迎えることが期待されます。

横浜市役所 ●

← 桜木町

JR 関内駅

石川町 →